

平成27年4月7日(火)発行

四月六日 入学式
十四名の新入生



大海小学校
学校だより
第1号

「よく考え 笑顔で 元気な 大海っ子の育成」

校長 油井 宏樹

花の便りに心の浮き立つ季節となりました。

いよいよ平成27年度が動き出しました。4月6日、始業式と入学式を行い、子どもたちは入学の喜びや進級の決意を新たにしました。今年度は、14名の新入生を迎え、児童数95名、教職員14名でスタートいたしました。とうとう、100名を切り、少子化の波が大海にも確実に来ていることを実感しています。児童数は少ないながらも、子どもたち一人一人が「大海小学校で学んでよかった」と感じることでできる学校づくりに職員一丸となって取り組みたいと考えております。

学校は、「子どもたちが元気に登校し、それぞれの教室で楽しく勉強し、休み時間は友だちと遊び、美味しい給食を食べ、元気に下校していく」その繰り返しの日々です。それが「当たり前」と言いたいのですが、最近の報道では、子どもたちを取り巻く環境は、ますます厳しさを増しているように感じられます。子どもたちの安心・安全が脅かされています。登下校は不審者や交通事故に注意し、地域ぐるみで子どもの安全を守らなければなりません。「当たり前のことを当たり前に行う」ことが難しくなっています。

幸いにも、私が赴任してから大海小学校では大きな問題は何も起こっていません。しかし、子どもが巻き込まれる事件や事故に関わる問題が報道されると、どういう訳か別の地域で同じようなことが発生するというのも現代の特徴です。

「無事は貴人（ぶじこれきじん）（ぶじこれきにん）」という言葉が禅語にあります。この語の本来の意味合いではありませんが、「無事の日々の生活が出来ることは尊く、そのことが出来るひとこそ貴い人」と解釈したくなります。毎日子どもたちが無事で学校に来て、大きな事件や事故もなく帰宅してくれることが自分の願いの一つです。

さて、平成27年度の大海小学校の教育目標は、

「よく考え 笑顔で 元気な 大海っ子の育成」 です。

「よく考え＝確かな学力」、「笑顔で＝豊かな心」、「元気な＝健やかな体」と置き換え、今年度も子どもたちに「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」を育むことで「生きる力」を身につけさせたいと考えています。知徳体のバランスのとれた人間形成を目指していきます。

子どもたちを健全に育てていくためには、学校・家庭・地域がともに手を携えて、それぞれがもつ機能を発揮しながら育てていく「共育」の精神が大切であると考えます。今年度も大海を取り巻く自然や人々などを活かし特色のある教育活動を、「家庭で育て」「学校で磨き」「地域で鍛える」の三者の連携で展開していければと考えています。

保護者や地域の方々のご理解、ご支援をお願い申し上げ、新年度はじめの学校便りいたします。